

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

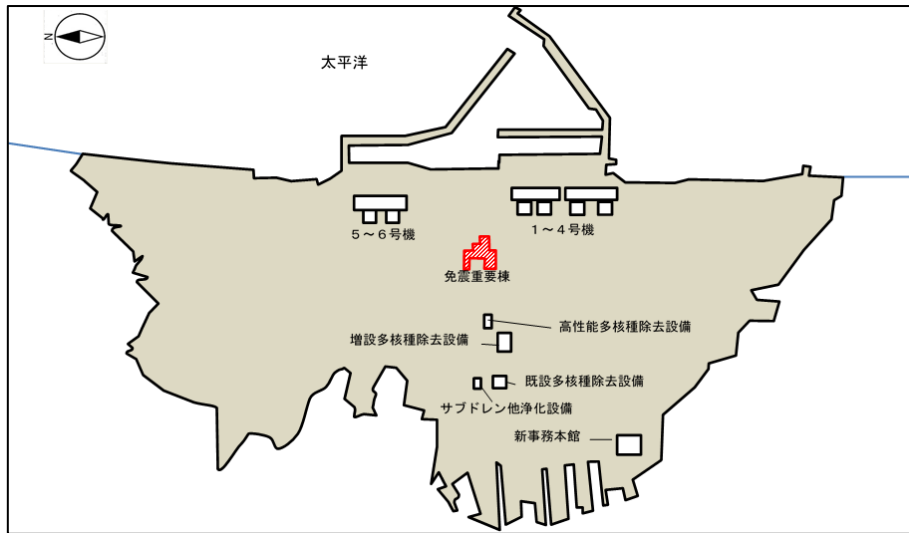
- 1 確認日  
令和4年10月7日（金）
- 2 確認箇所  
免震重要棟緊急時対策所
- 3 確認項目  
緊急時演習の実施状況

### 4 確認結果の概要

東京電力は、原子力事業者防災業務計画及び特定原子力施設に係る実施計画に基づき緊急事態に対処するための総合的な訓練である緊急時演習を実施している。

今回の緊急時演習は福島第一・第二原子力発電所、東京電力本店、原子力規制庁合同で行われ、両原子力発電所で同時に原子力災害が発生するという想定で行われており、その状況を確認した。

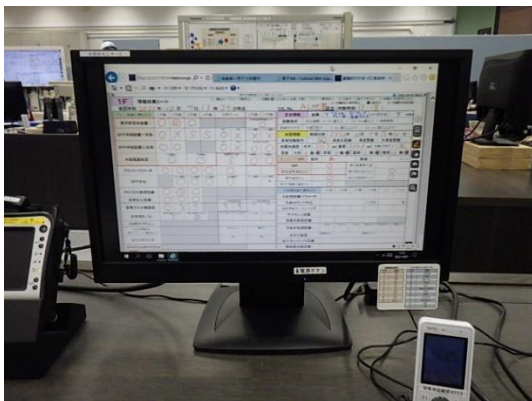
- ・訓練シナリオは全プレイヤーに対して非開示であり、以下の様な訓練シナリオで行われた。
  - 13:10に福島第一原子力発電所の立地町である大熊町で震度6弱を観測する地震が発生。
  - 5号機の使用済燃料プールにてプール水漏えいが発生。
  - 14:10に余震が発生し、5号機でプール水漏えいのスピードが増加し、6号機使用済燃料プールでも漏えいが発生する。
  - 並行して火災の発生や傷病者の発生があるなど、複数の事態が同時に進行する。
- ・当初、新事務本館の緊急時対策室における態勢であったが、態勢が強化されることが判断され、原子力防災要員へ免震重要棟緊急時対策所に参集することが指示された。13:30ごろから要員が緊急時対策所へ到着し、各々の班の指定された場所で対応を開始した。なお、参集人数は約110名であった。（写真1）
- ・状況が変化する中、全体マイクを通じて書画カメラを使いながら設備の状況が共有され、プール水位変動予測が指示されたり、その結果などが情報共有されていた。
- ・その他、各プラントの状況が電子ホワイトボードで写しだされていた。（写真2）
- ・FAXを用いた通報連絡の訓練が行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
原子力防災要員参集後の免震重要棟  
緊急時対策所の状況



(写真2)  
重要情報を共有する電子ホワイトボ  
ードの状況



(写真3)  
通報訓練の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。